



2012年3月期 決算説明会

大太平洋金属株式会社

2012年5月18日

ホームページURL : <http://www.pacific-metals.co.jp>

お問い合わせ先 : 総務部(IR担当)

TEL : 03-3201-6681

目 次

I 12.3期 決算実績	
1. 概要	3
2. ニッケル事業	4
3. 国別販売実績〔11.3実績対12.3実績〕	5
4. 連結経常損益の分析〔11.3実績対12.3実績〕	6
II 今後のニッケル需給の見通しについて	
1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移	8
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給	9
3. 地域別ステンレス・ニッケル需給見通し	10
III 13.3期 決算見通し	
1. 概要	12
2. ニッケル事業	13
3. 国別販売見通し〔12.3実績対13.3予想〕	14
4. 連結経常損益の分析〔12.3実績対13.3予想〕	15
IV 経営課題への取り組み	
◆投資内容	17
◆安定した鉱石調達への取組み	
1. ニッケル鉱石安定調達策	18
2. 「ウェダベイ」ニッケル鉱床と湿式精錬について	20
3. 湿式製錬への取組み	21

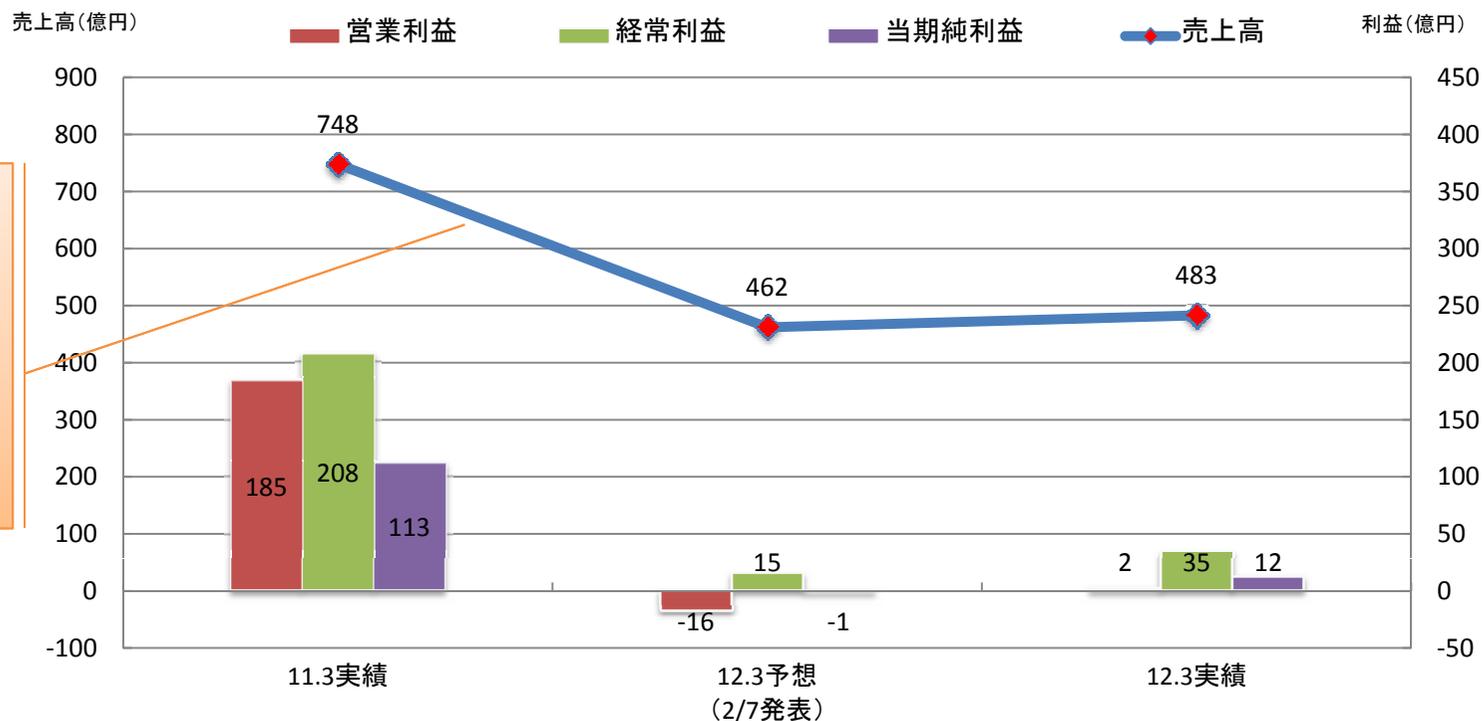


I 12.3期 決算実績

◆12.3期 決算実績

1.概要

・1Q 津波による
生産販売量の大幅減
・6号炉改修による
生産数量低下
・販売価格の低下



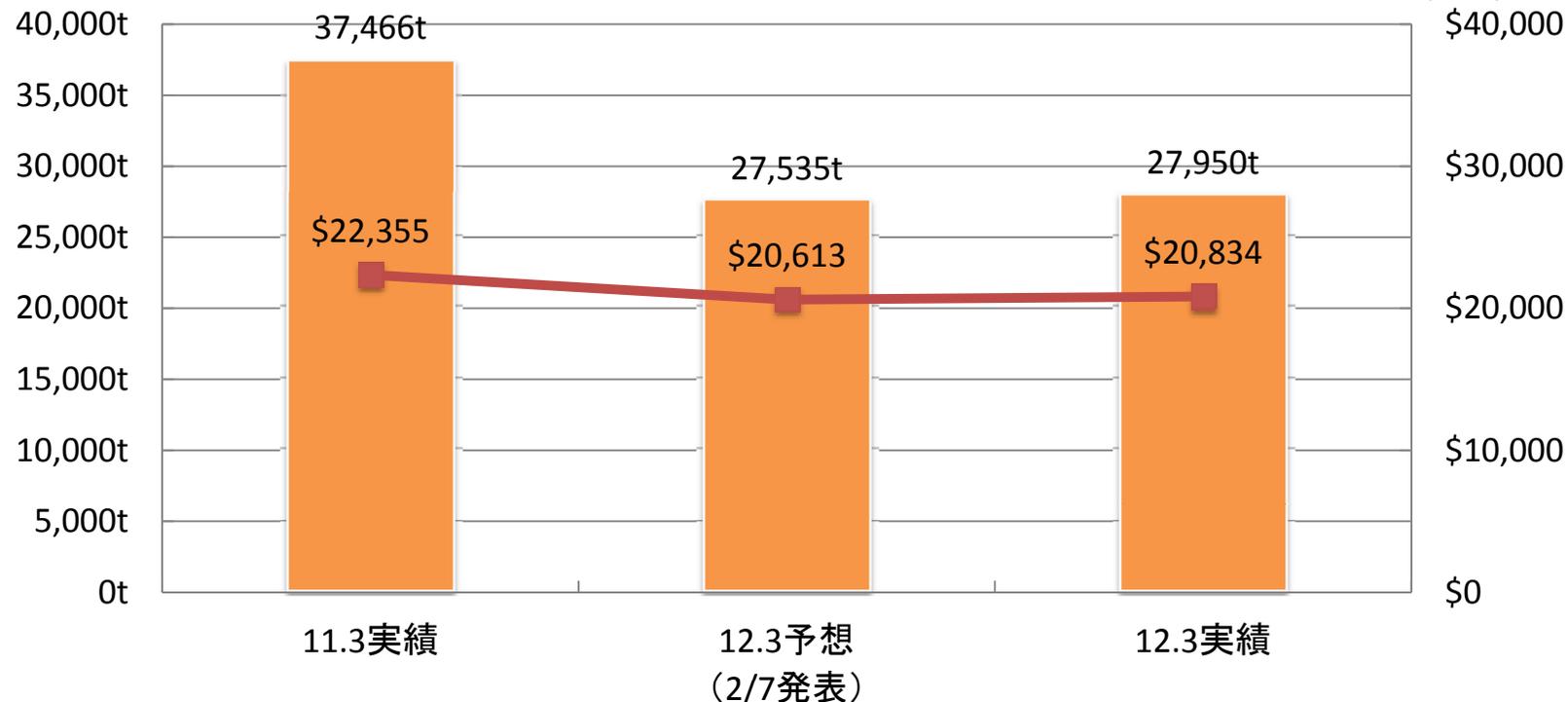
金額単位;百万円	11.3実績		12.3予想(2/7発表)		12.3実績		対前期比 (%)	対2/7発表予想比 (%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	74,786	—	46,208	—	48,330	—	△35.4	4.6
営業利益	18,495	24.7	△1,591	△3.4	154	0.3	△99.2	—
経常利益	20,768	27.8	1,515	3.3	3,524	7.3	△83.0	132.6
当期純利益	11,261	15.1	△116	△0.3	1,175	2.4	△89.6	—
(投資額)	1,987	—	—	—	12,019	—	504.9	—
(減価償却費)	5,494	—	—	—	6,375	—	16.0	—

◆12.3期 決算実績

2. ニッケル事業

数量(Niトン)

LMEニッケル価格
(\$/トン)



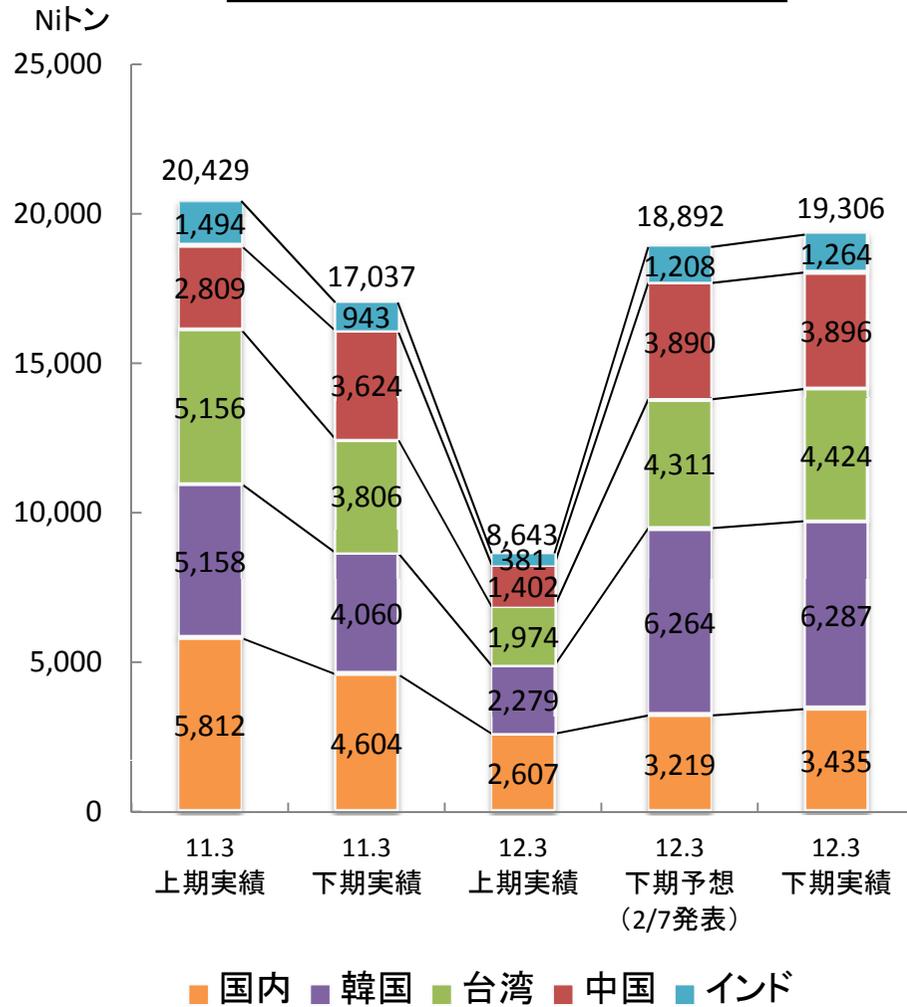
	11.3実績	12.3予想 (2/7発表)	12.3実績	対前期比(%)	対2/7発表 予想比(%)
生産数量(Niトン)	37,658	—	28,774	△ 23.6	—
販売数量(Niトン)	37,466	27,535	27,950	△ 25.4	1.5
適用LME(\$/トン)	22,355	20,613	20,834	△ 6.8	1.1
【適用LME(\$/lb)】	【10.14】	【9.35】	【9.45】	—	—
適用為替(¥/\$)	85.92	76.55	78.08	△ 9.1	2.0

◆ 12.3期 決算実績

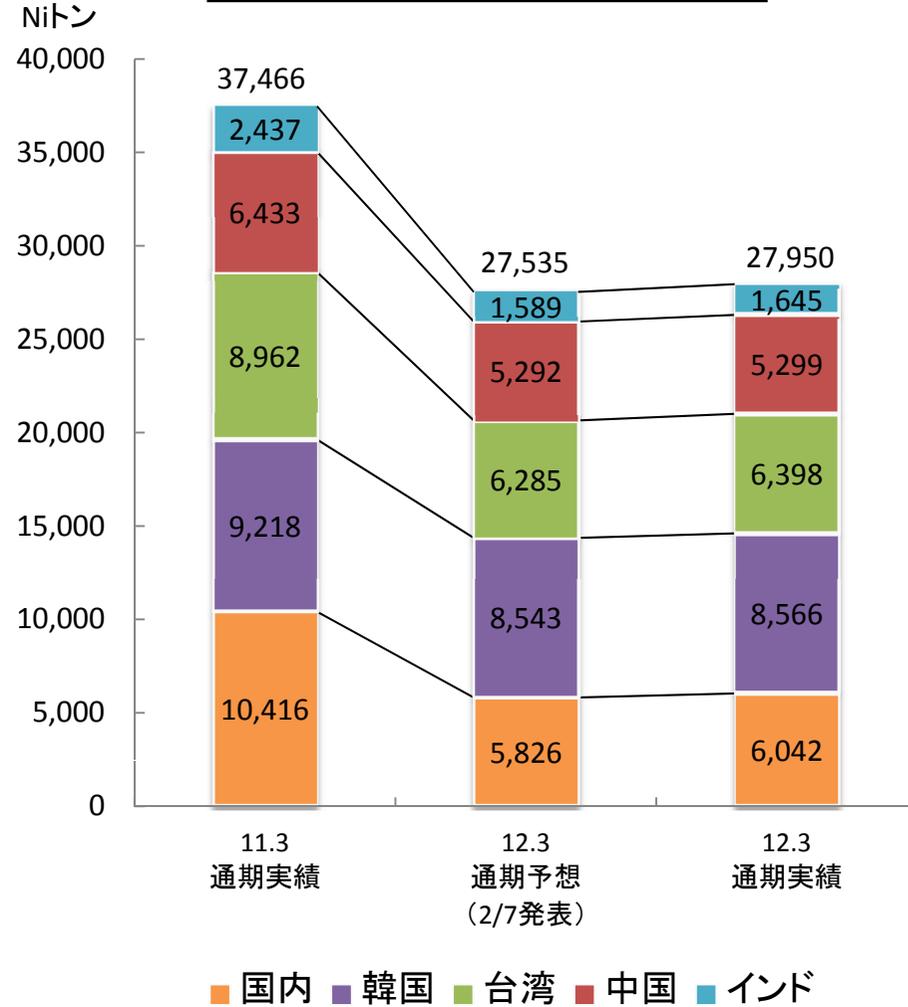
3. 国別販売実績〔11.3実績対12.3実績〕

当社のフェロニッケル販売数量(国別)実績

11.3期実績～12.3期実績推移(半期)

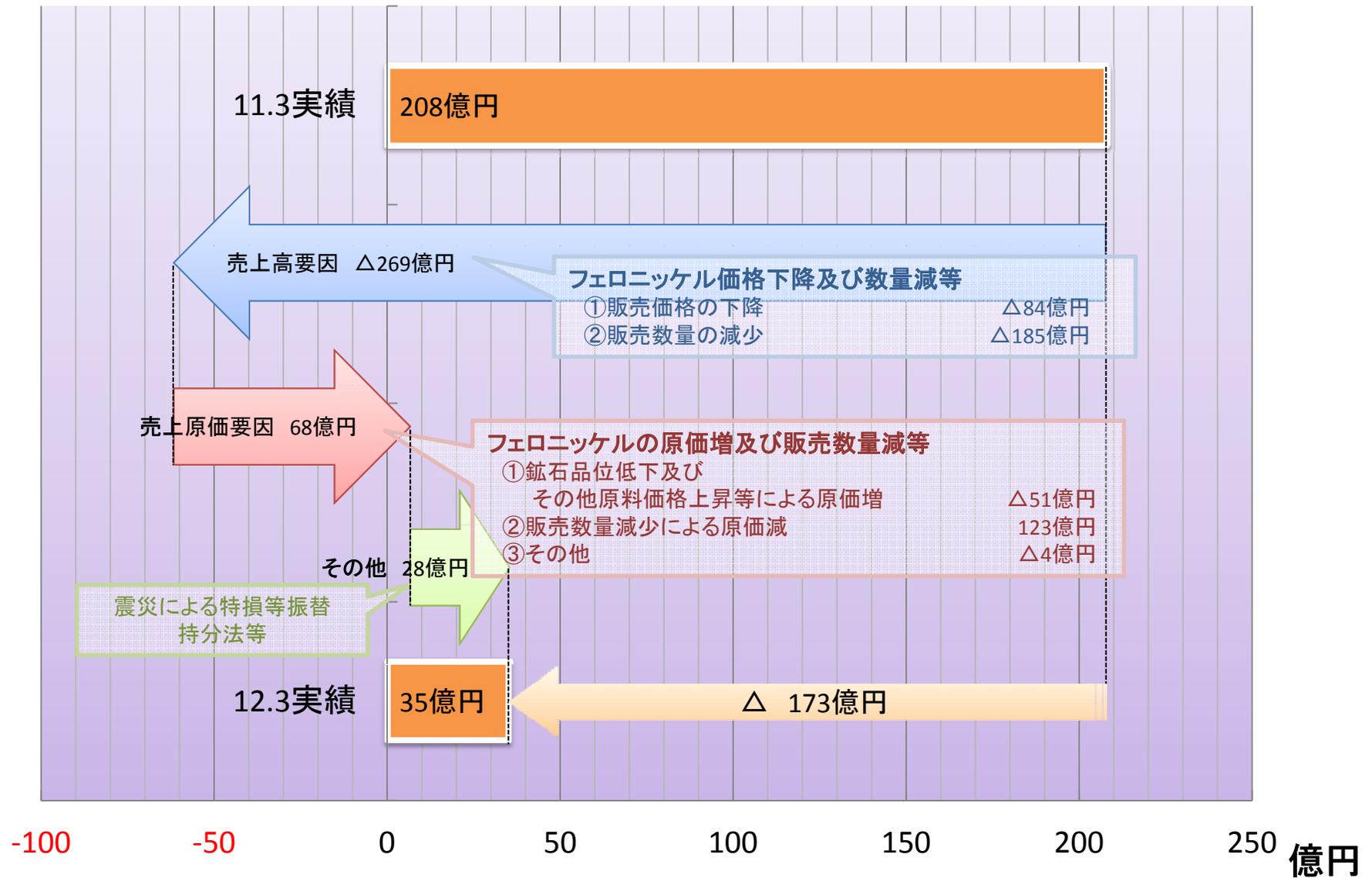


11.3期実績～12.3期実績推移(通期)



◆12.3期 決算実績

4.連結経常損益の分析〔11.3実績対12.3実績〕

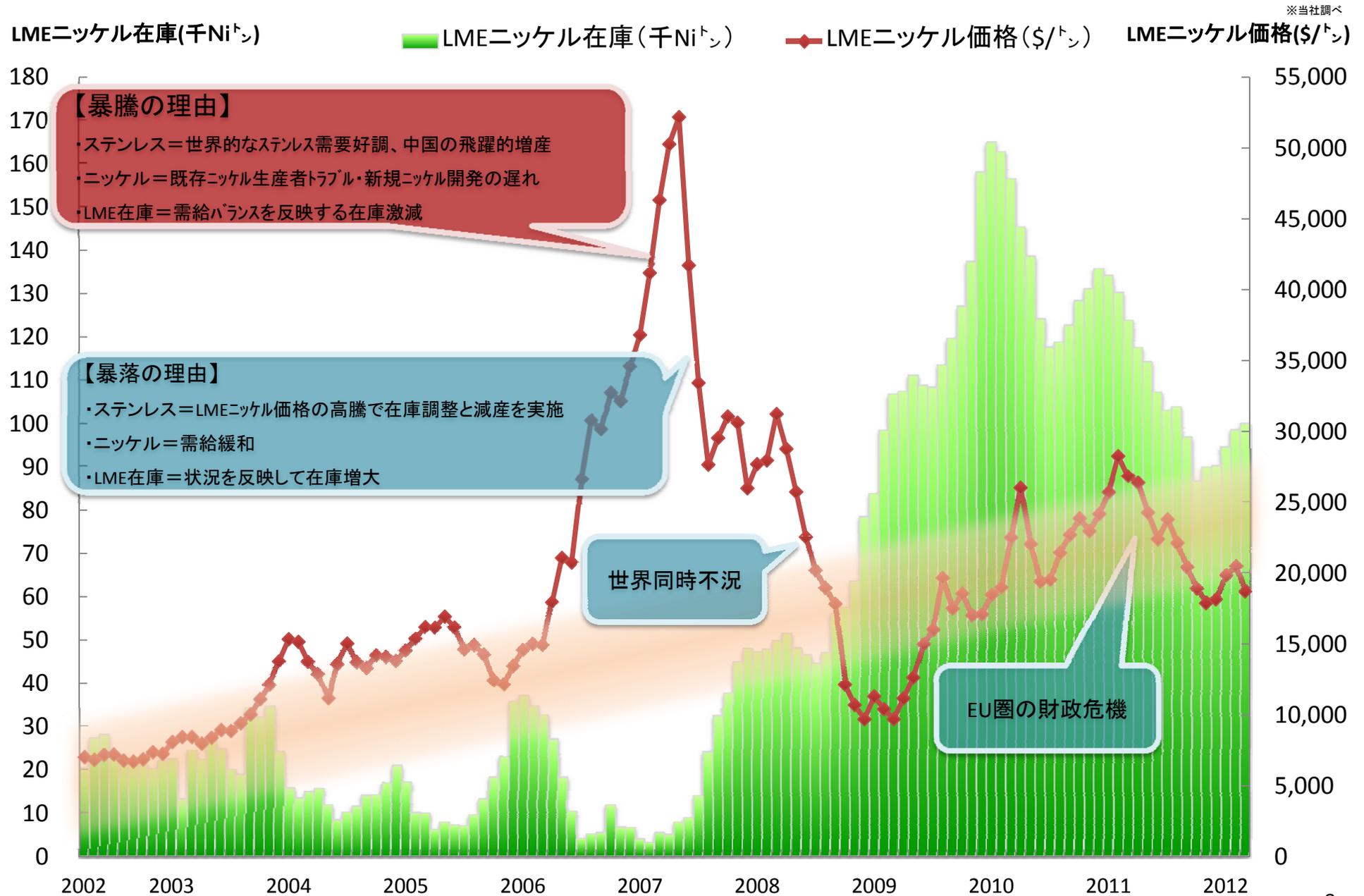




Ⅱ 今後のニッケル需給の見通しについて

◆今後のニッケル需給の見通しについて

1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移(2002年～2012年)

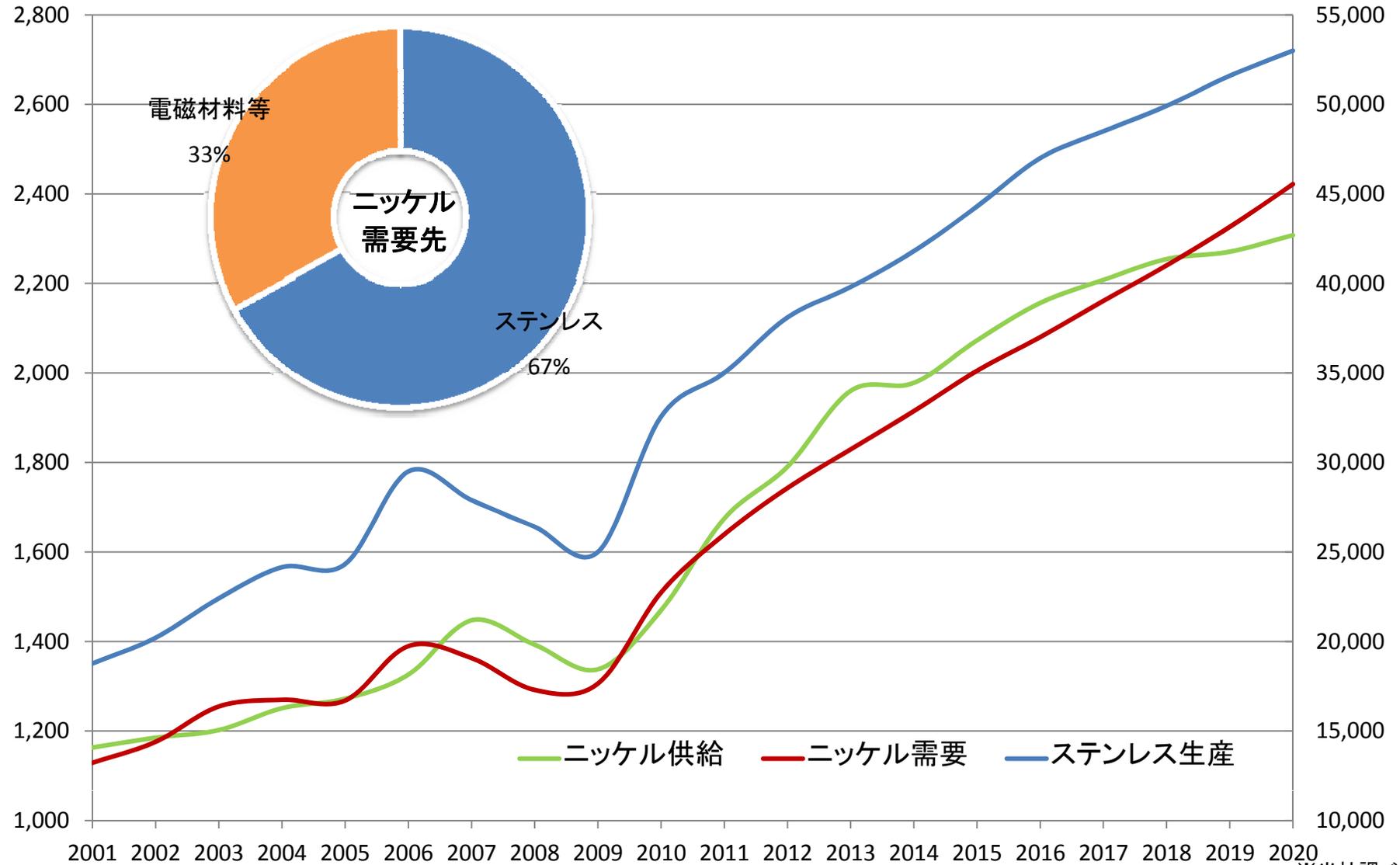


◆今後のニッケル需給の見通しについて

2. 世界のステンレス生産とニッケル需給

ニッケル需給(千t)

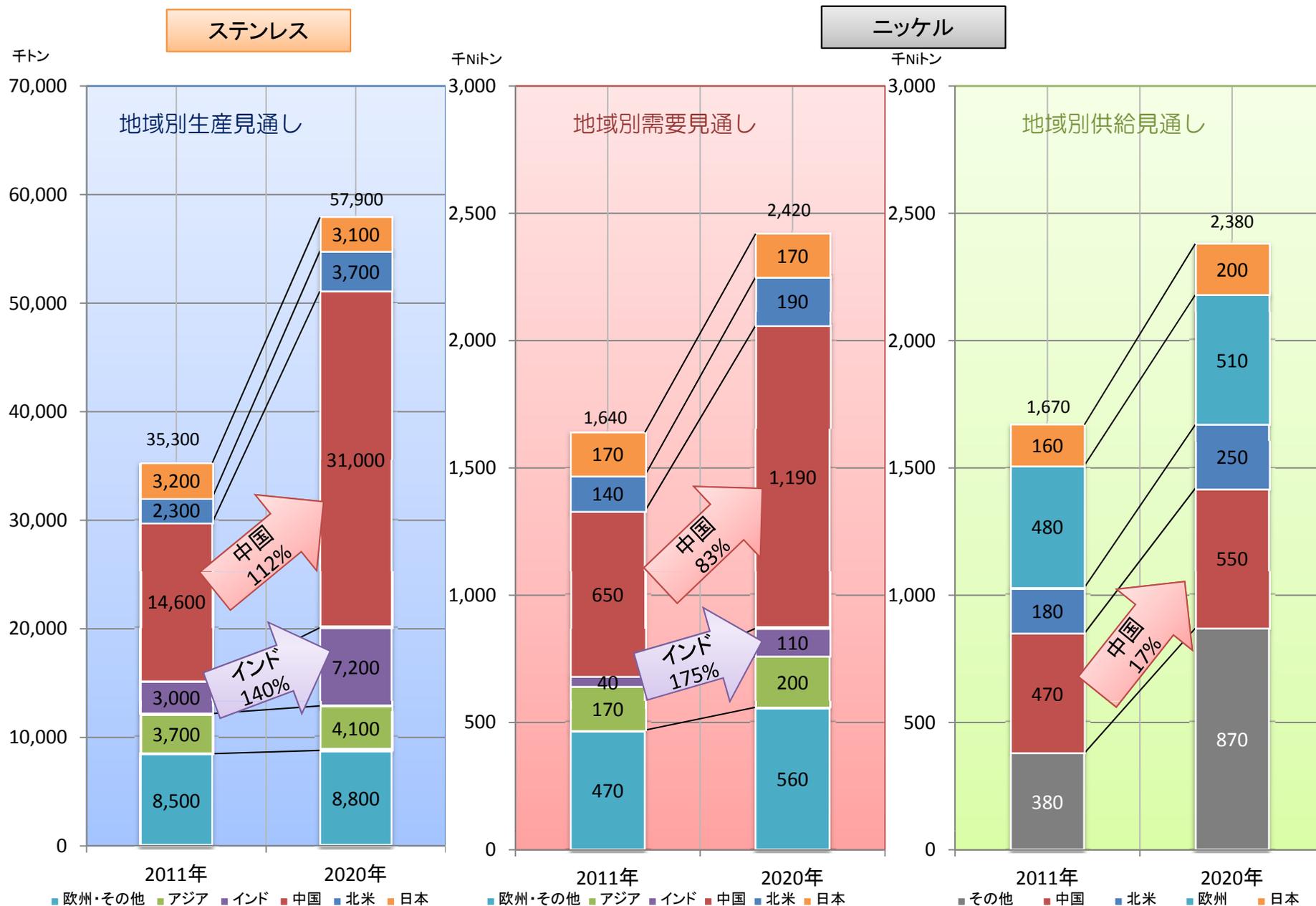
ステンレス生産(千t)



※当社調べ

◆今後のニッケル需給の見通しについて

3.地域別ステンレス・ニッケル需給見通し



※当社調べ

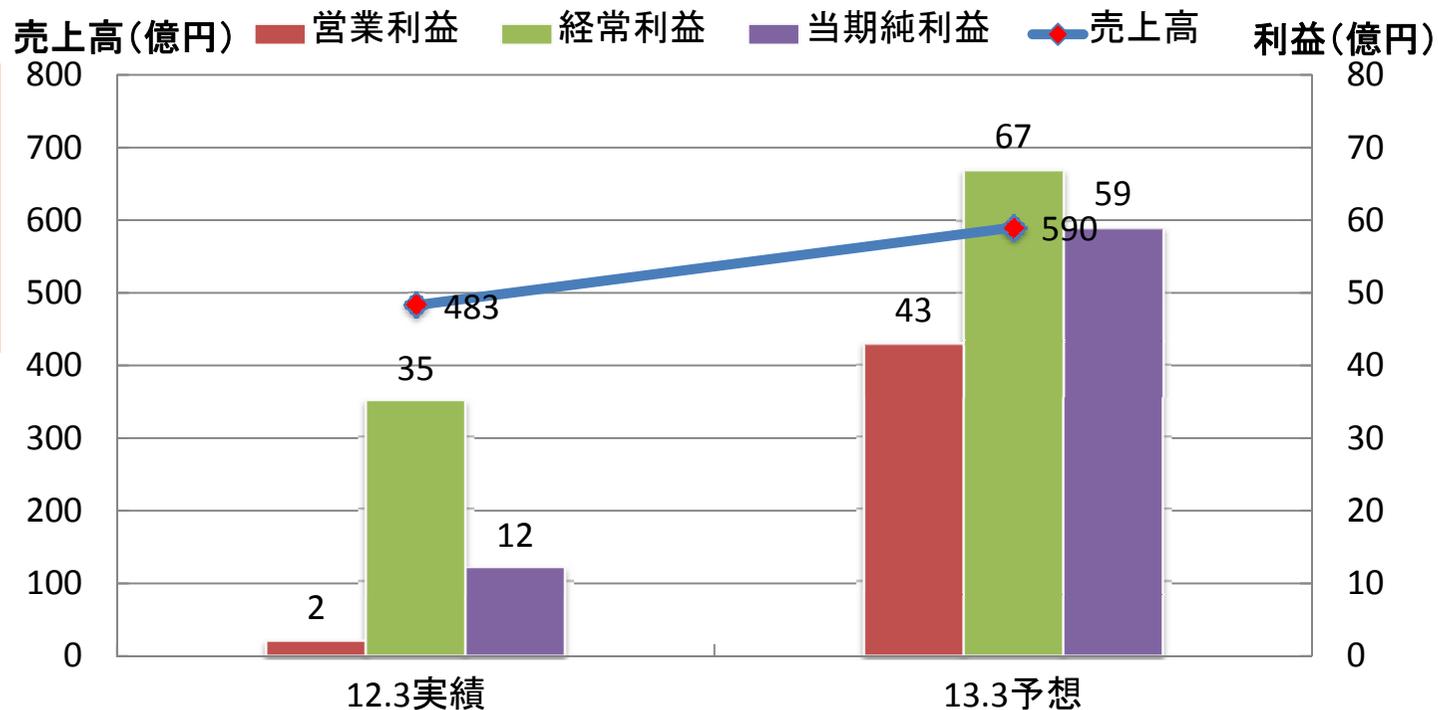


Ⅲ 13.3期 決算見通し

◆ 13.3期 決算見通し

1.概要

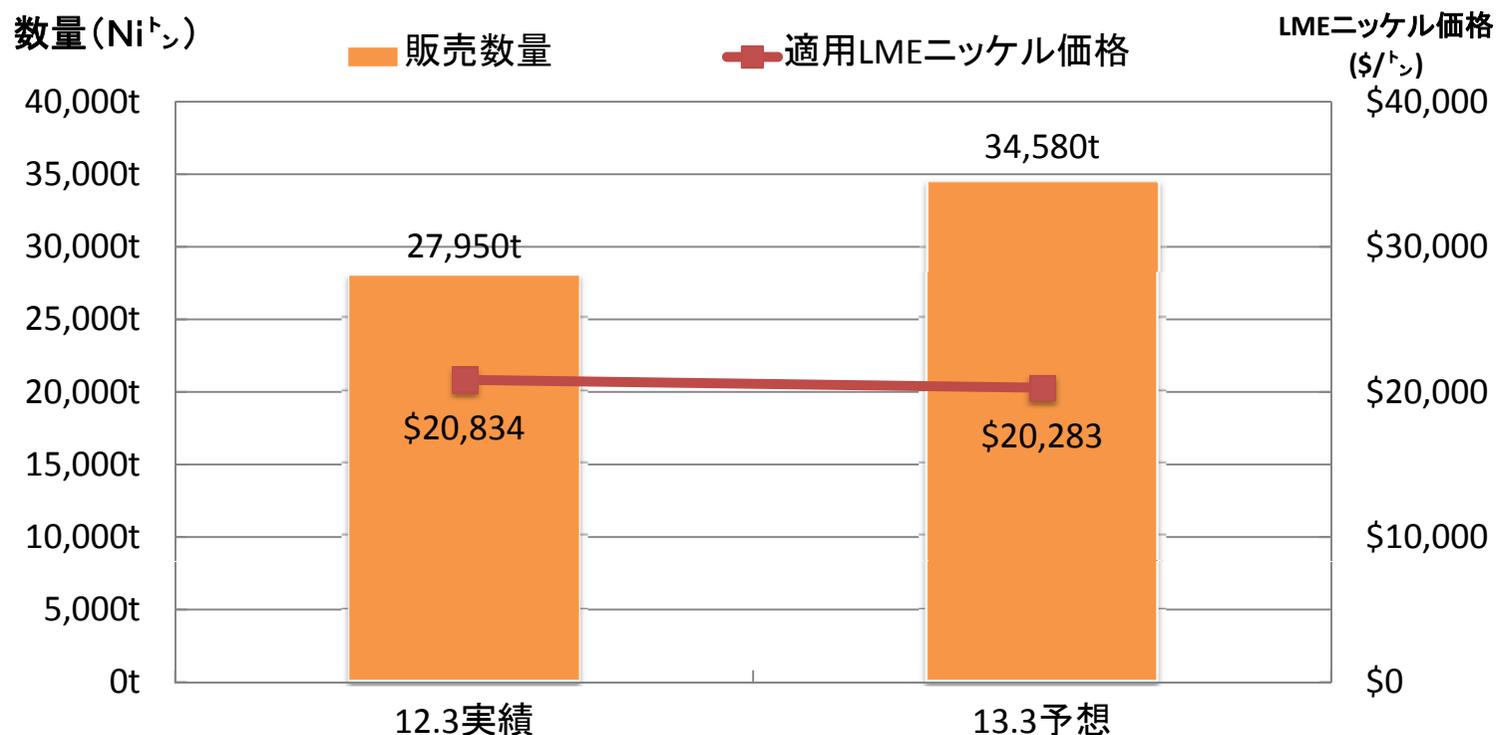
・3炉操業へ
 ・鉱石品位低下による生産数量減



金額単位;百万円	12.3実績		13.3予想		対前期比 (%)
	金額	利益率	金額	利益率	
売上高	48,330	—	58,961	—	22.0
営業利益	154	0.3	4,290	7.3	—
経常利益	3,524	7.3	6,694	11.4	90.0
当期純利益	1,175	2.4	5,909	10.0	402.9
(投資額)	12,019	—	7,769	—	△35.4
(減価償却費)	6,375	—	7,140	—	12.0

◆ 13.3期 決算見通し

2. ニッケル事業



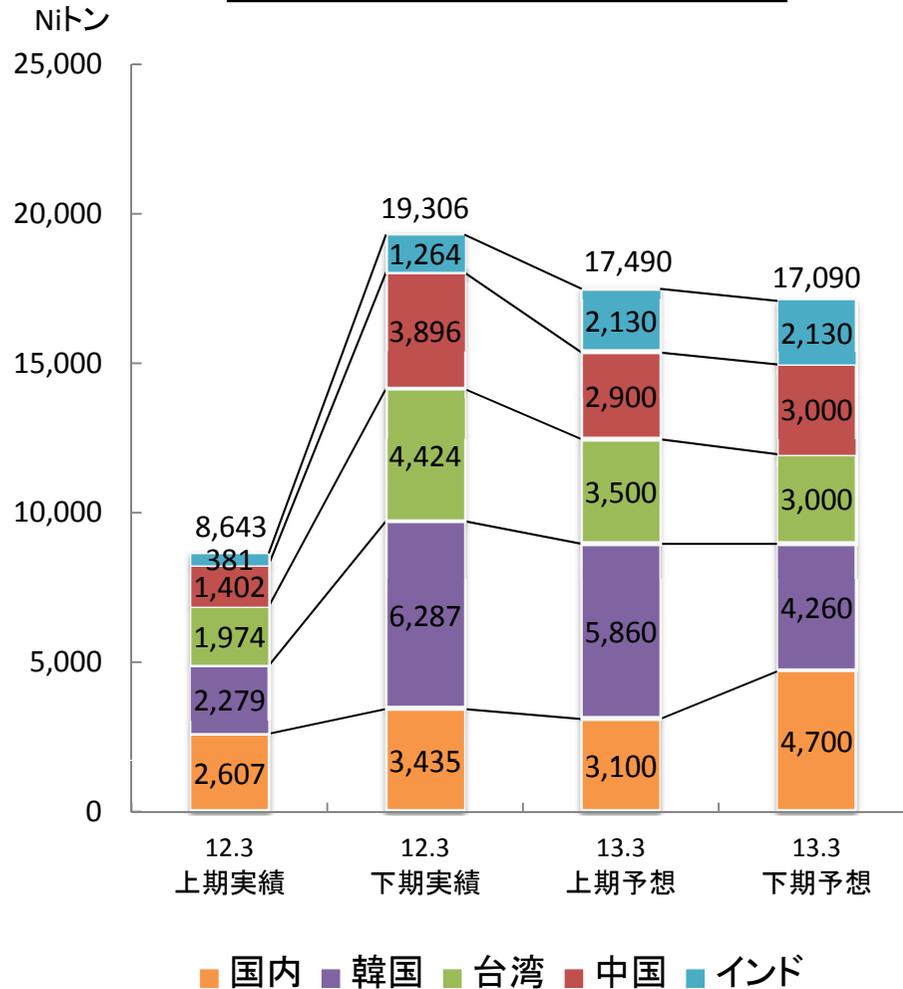
	12.3実績			13.3予想(新)			対前期比 (%)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
生産数量(Niト)	11,834	16,940	28,774	16,535	18,275	34,810	21.0
販売数量(Niト)	8,644	19,306	27,950	17,490	17,090	34,580	23.7
適用LME(\$/ト)	22,950	19,886	20,834	20,018	20,569	20,283	△ 2.7
【適用LME(\$/lb)】	【10.41】	【9.02】	【9.45】	【9.08】	【9.33】	【9.20】	—
適用為替(¥/\$)	78.59	77.86	78.08	79.30	79.55	79.42	1.7

◆ 13.3期 決算見通し

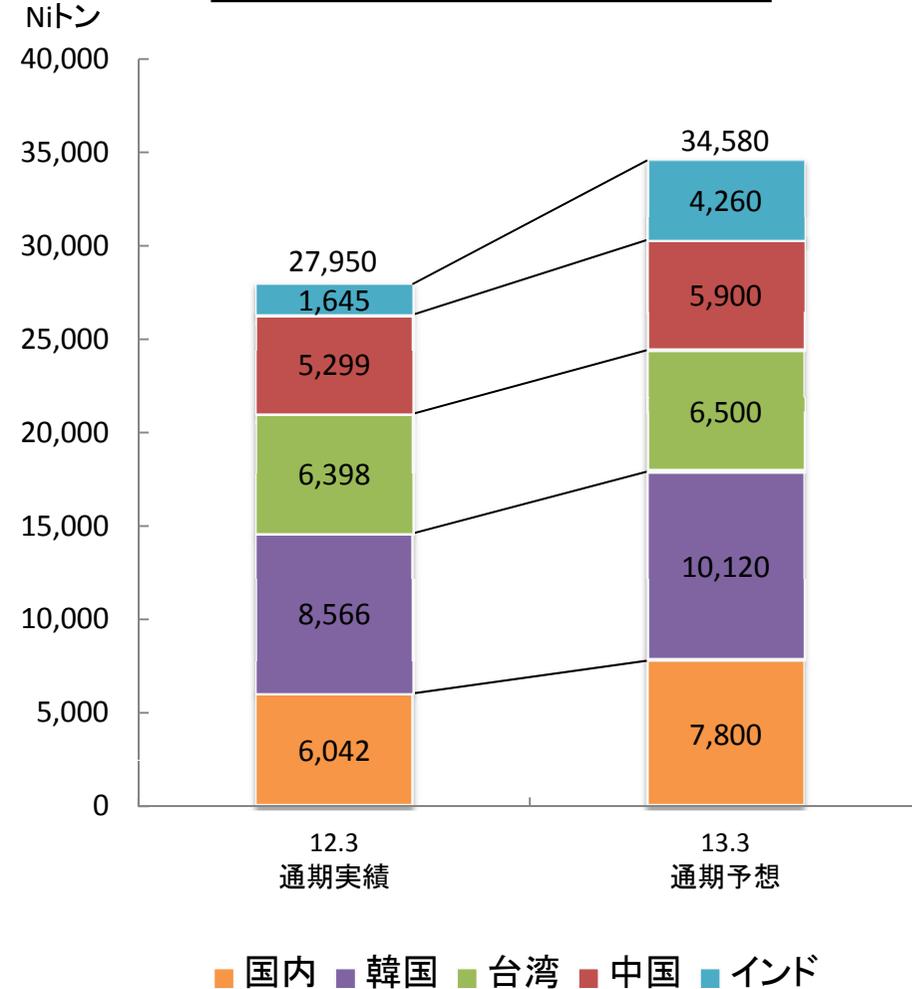
3. 国別販売見通し〔12.3実績対13.3予想〕

当社のフェロニッケル販売数量(国別)実績

12.3期実績～13.3期予想推移(半期)

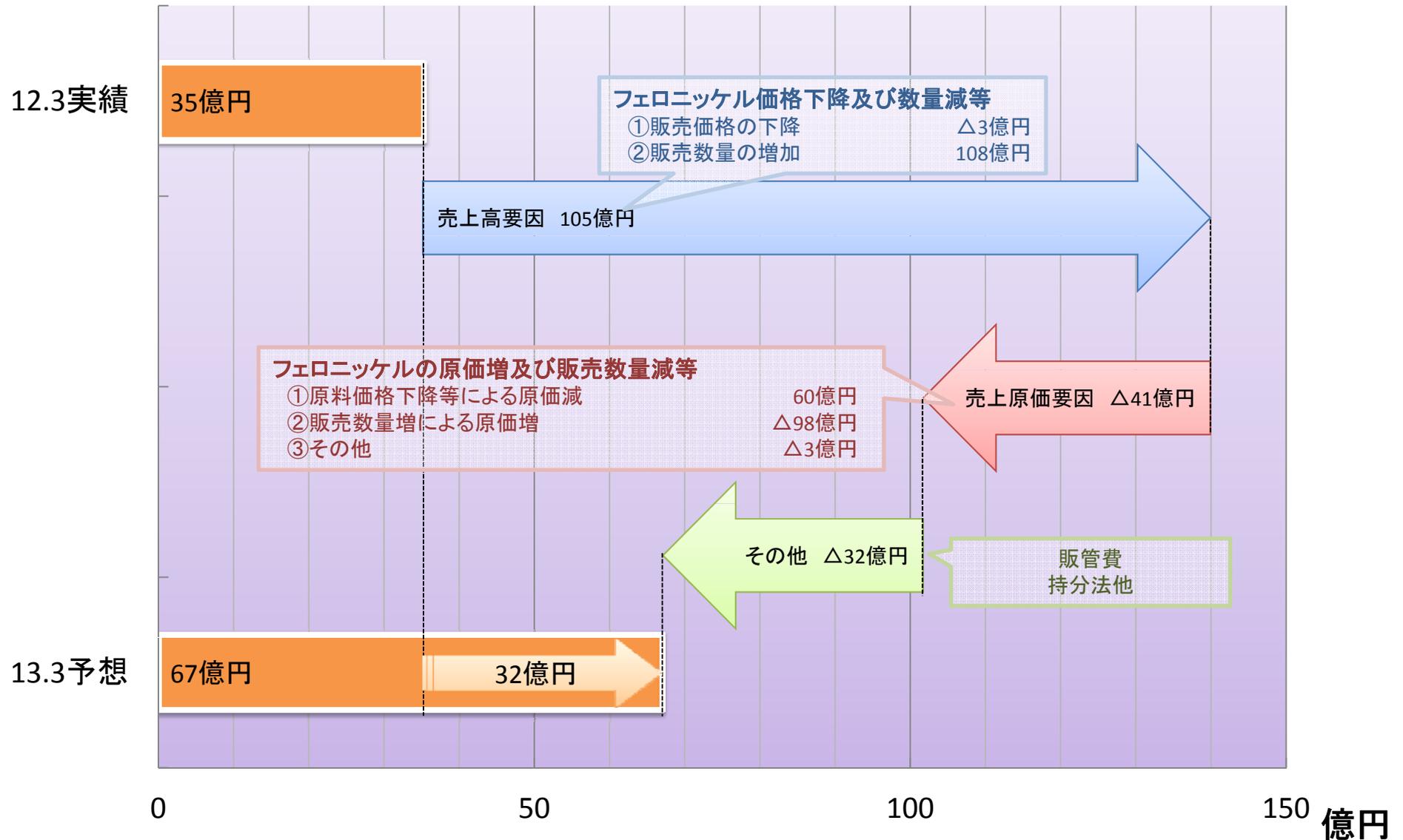


12.3期実績～13.3期予想推移(通期)



◆13.3期 決算見通し

4.連結経常損益の分析〔12.3実績対13.3予想〕



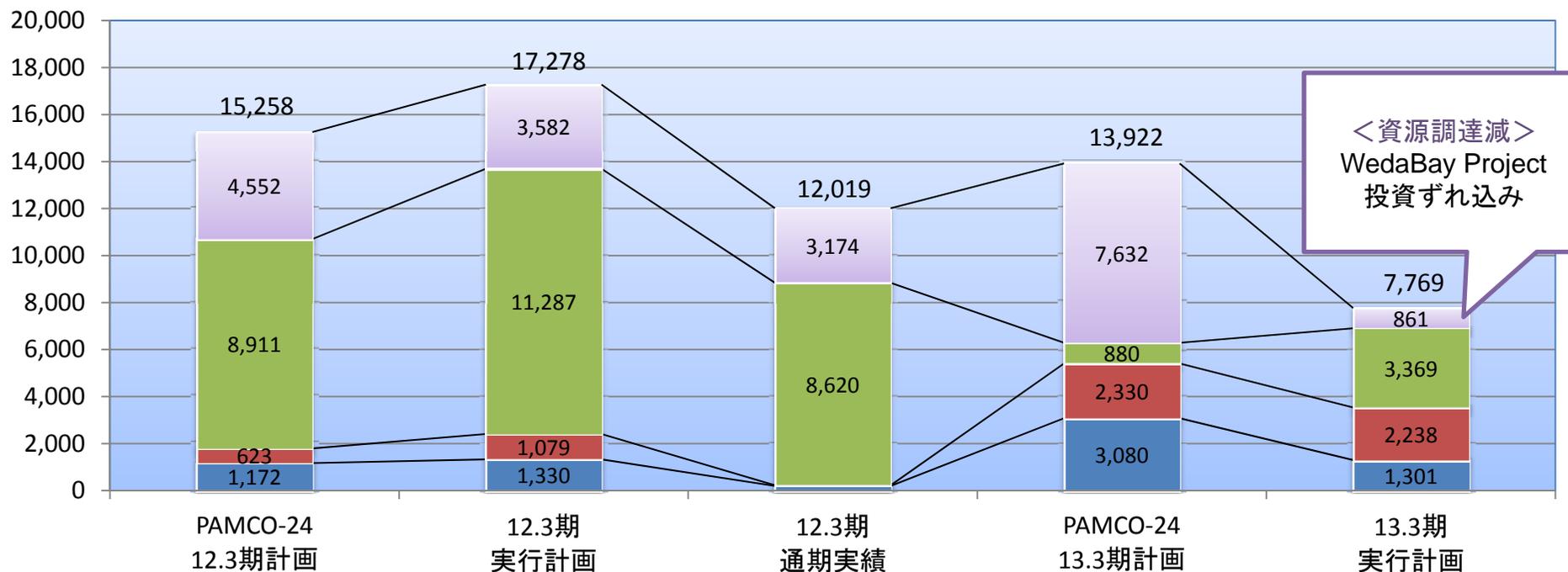


IV 経営課題への取り組み

◆投資内容

単位:百万円

■①労働安全衛生 ■②環境対策 ■③維持更新投資 ■④資源調達



単位:百万円

	PAMCO-24 12.3期計画	12.3期 実行計画	12.3期 通期実績	PAMCO-24 13.3期計画	13.3期 実行計画
①労働安全衛生	1,172	1,330	199	3,080	1,301
②環境対策	623	1,079	25	2,330	2,238
③維持更新投資	8,911	11,287	8,620	880	3,369
④資源調達	4,552	3,582	3,174	7,632	861
合計(工事ベース)	15,258	17,278	12,019	13,922	7,769

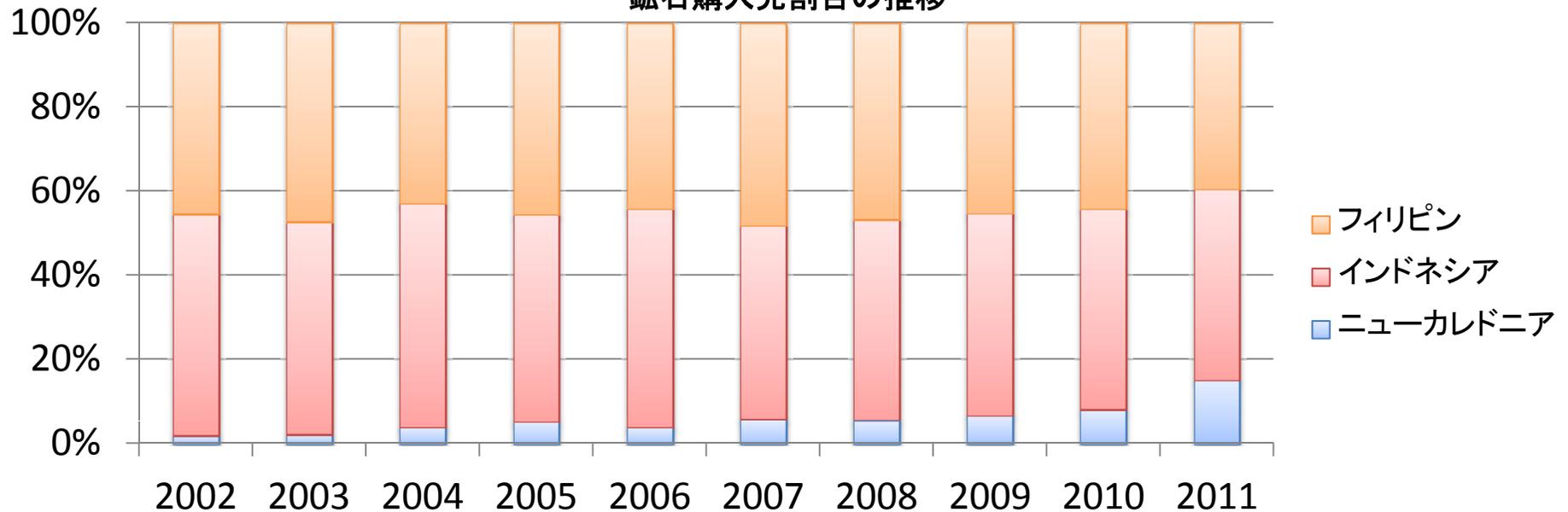
◆安定した鉱石調達への取組み

1. ニッケル鉱石安定調達策

長期購入契約締結 (随時更新)

購入先	09年 3月期	10年 3月期	11年 3月期	12年 3月期	13年 3月期	14年 3月期	15年 3月期	16年 3月期	17年 3月期	
<フィリピン> リオ・チバ・ニッケル社 出資	08年1月～12年12月 (5年間)			11年1月～15年12月 (5年間) (契約更新)						
<フィリピン> タガニート社 出資	01年1月～10年12月 (10年間)			11年1月～15年12月 (5年間)						
<フィリピン> カグジャナオ社			11年1月～15年12月 (5年間)							
<インドネシア> アンタム社	07年6月～14年5月 (7年間)							インドネシアの新鉱業法施行予定		
<ニューカレドニア> モンタニア社	06年4月～16年3月 (10年間)									

鉱石購入先割合の推移



◆安定した鉱石調達への取組み

1. ニッケル鉱石安定調達策

当社鉱石購入先(2011年)

年間鉱石購入量

250万トン

フィリピン

<鉱山開発の状況>

- ・リオチバ、タガニートを中心として鉱山開発を進めている

インドネシア

<鉱山開発の状況>

- ・アンタム社が鉱山開発
- ・安定した鉱山操業のための技術協力

新鉱業法について

◆当社は原料のほぼ50%をインドネシアに頼っており、鉱石輸出停止されれば甚大な影響が及ぶ

⇒対策として、以下を推進中

- ・フィリピン、ニューカレドニアへの鉱石供給量増加の要請
- ・新規調達先の開拓

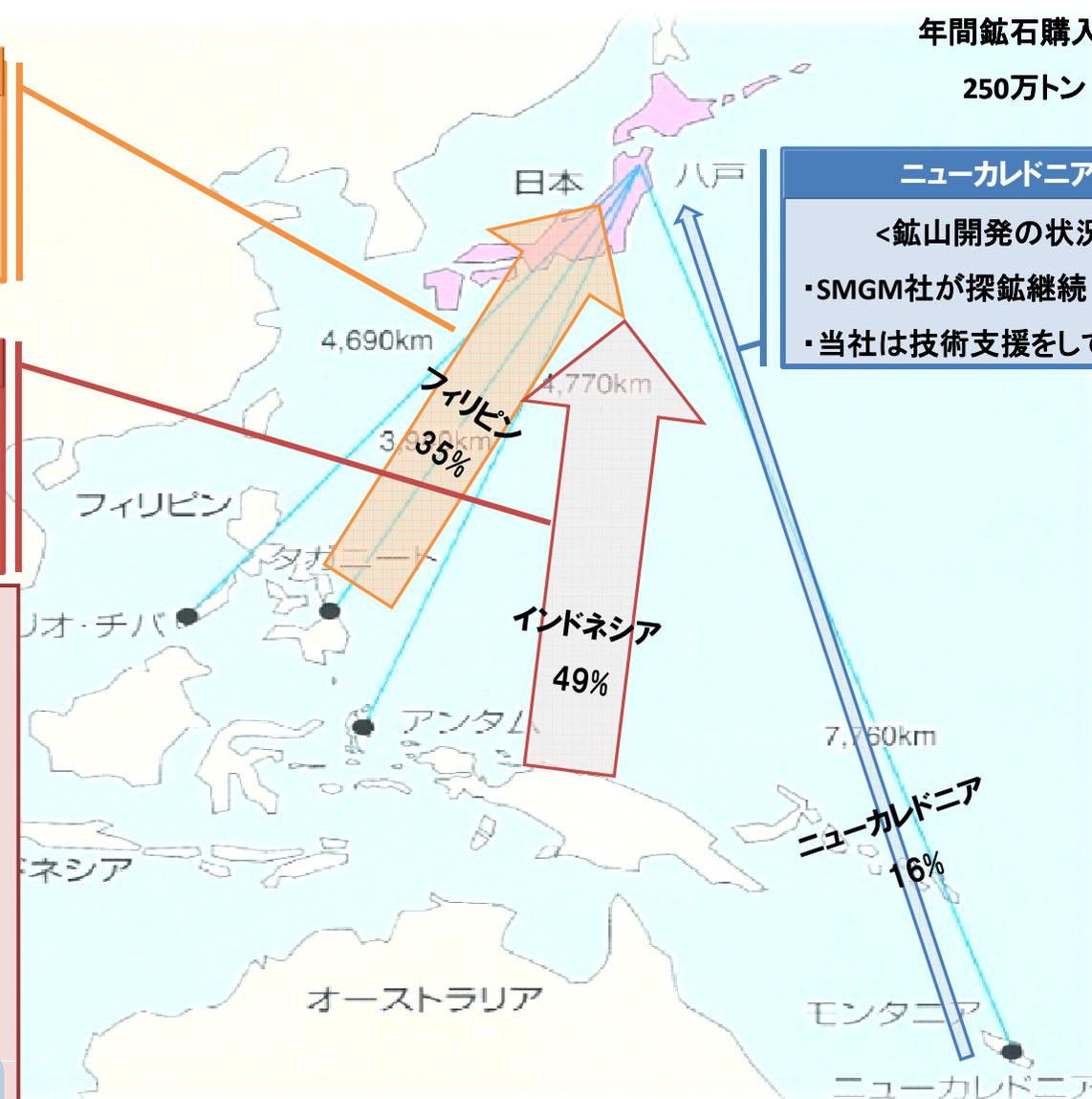
- ー フィリピン、NCの複数の会社と交渉中
- ー うち数社とは、テスト出荷の実施について合意済み
- ー 数社とは、探鉱契約締結し、探鉱作業実施、鉱山開発へと進行中

以上により、仮にインドネシアからの鉱石輸出が停止されてとしても現在の当社生産量を大きく減らすことなく切り抜けることができる見通し

ニューカレドニア

<鉱山開発の状況>

- ・SMGM社が探鉱継続
- ・当社は技術支援をしている



◆安定した鉱石調達への取組み

2. 「ウェダベイ」ニッケル鉱床と湿式製錬について

「ウェダベイ」ニッケル鉱床(インドネシア)

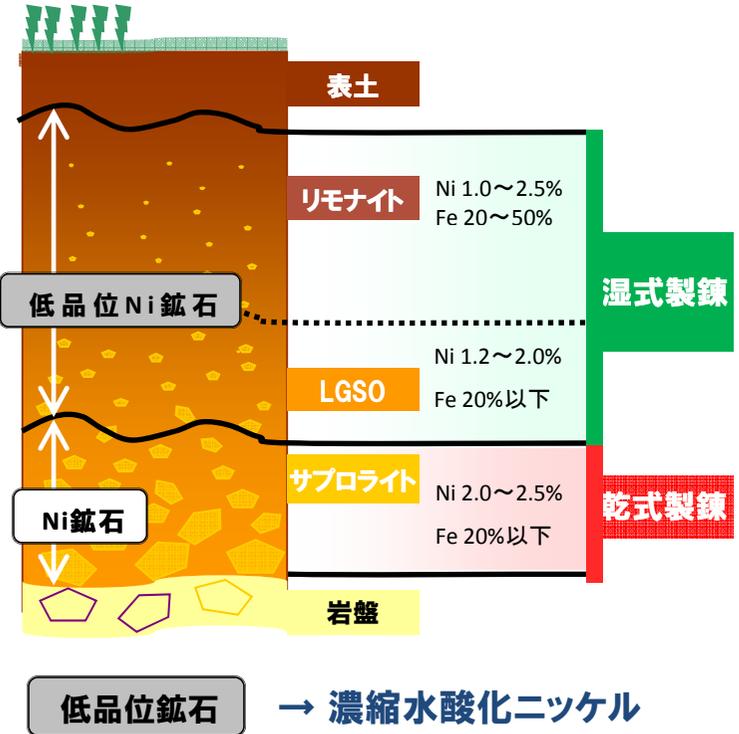


＜当社と同じ常圧浸出法を採用する計画＞

インドネシア ハルマヘラ島の「ウェダベイ」鉱床には、世界有数の大規模で未開発のニッケルが埋蔵されており、最新の調査より鉱物資源量は合わせて630万トンにも上ります。湿式精錬を採用して、最終的には年間6.5万トンのニッケル生産を目標としています。

湿式製錬について

＜酸化ニッケル鉱石別製錬法＞



低品位鉱石 → 濃縮水酸化ニッケル

湿式製錬とは、化学処理によるニッケルの濃縮・抽出方法。
 現地山元で湿式製錬し、品位を上げた中間産品を八戸で乾式製錬することにより低品位鉱石を活用可能。

◆安定した鉍石調達への取組み

2. 湿式製錬への取組み

2012年11月、パイロットプラントによる常圧浸出技術の確定を目指す

		STEP 1	STEP 2	STEP 3
	期間	～2010年3月	2010年4月～2011年3月	2011年4月～2012年11月(計画)
	目標	パイロットプラントの完成 (投資額88億円)	<ul style="list-style-type: none"> 硫酸使用による中間製品実証試験開始 各種点検方法の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 中間製品化の確立 当社常圧浸出技術の確定 環境基準のクリア 各種点検方法の確立
自社の 湿式	成果・課題	 鉍石スラリータンクとNi浸出反応装置	<ul style="list-style-type: none"> 当社プロセスの特徴であるリモナイト鉍石と低品位サプロライト鉍石の全量処理を確認 Ni中間製品もFeNi原料として使用可能な濃縮水酸化ニッケルが確認 排液環境基準値の達成も確認 	<ul style="list-style-type: none"> 震災の影響により施設が損傷し当初計画より遅れるが、当社の常圧浸出技術確立へ向け進行中 2011年8月末、震災復旧と設備改善を完了 2011年9月から鉍石と硫酸を使用した立ち上げを開始、順調に推移 今後、パイロットプラントの安定操業を実施し、各種プロセスデータを取得していく



Wedabay	<ul style="list-style-type: none"> 2012上期までにBFS完了予定 2013初に最終意思決定 フル生産達成まで数年
---------	--

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。